

Songs from Singapore to Tohoku - 東日本大震災復興支援コンサート - 報告書

実施期間：2011年12月9日(金)～12月12日(月)

出演ミュージシャン：Sachiyo (Vocal)/Adam Lee (Guitar/Bass)/Mei Sheum (Piano/Keyboard)/Mohamed Noor (Percussions)

■ 第一回目公演

2011 SENDAI 光のページェントにライブ出演 (MJQサロン・定禅寺通り Date fm スタジオ前)

日時：12月9日(金) 19:05 - 19:55



【演奏曲目】

- 1) Lah Lah Lah Singapura (Sachiyoオリジナル曲)
- 2) 花心〜Bengawan Solo (沖縄の「花」を中国語で〜インドネシア民謡)
- 3) 涙そうそう
- 4) Red Sweet Pea (赤いスイートピー を英語詞で)
- 5) Southern Christmas (Sachiyoオリジナル曲)
- 6) Home (シンガポール・ナショナルソング)
- 7) A Song of Life (被災地に捧げたSachiyoのオリジナル曲)

気温3度の中、野外での第一回公演。

光のページェント、イルミネーションの点灯直後で、金曜の夜という事もあり、

たくさんの人々が足を止めて、私達の演奏に耳を傾けて下さいました。

中でも「A Song of Life」は、演奏側からはっきりとわかる程、その場に居た全ての方々が涙を流して聴いて下さいました。

印象的だったのは、日本人だけではなく、インド系の方、中近東系の方、外国人の方々も居て、真摯に聴いて下さったこと。

演奏終了後、年配のおばさま達がたくさん集まって来て、「南国から来て寒かったですよ。気持ちは本当に伝わりました。

遠くから来てくれてありがとう。シンガポールの人達にお礼を言って下さいね。」と、

私の手や背中を一生懸命さすって温めて下さいました。初回公演、感動的な幕開けとなりました。

■ 第二回目公演

長町遊楽庵「びすたへり」にて公演

日時:12月11日(日) 11:45 - 14:00



【演奏曲目】

- 1) Lah Lah Lah Singapura (Sachiyoオリジナル曲)
- 2) 花心〜Bengawan Solo (沖縄の「花」を中国語で〜インドネシア民謡)
- 3) Red Sweet Pea (赤いスイートピー を英語詞で)
- 4) The Christmas Song (世界中で一番親しまれているクリスマスソング)
- 5) Southern Christmas (Sachiyoオリジナル曲)
- 6) Home (シンガポール・ナショナルソング)
- 7) Matahari (Sachiyoオリジナル曲)
- 8) 夜来香 (中国伝統曲)
- 9) Suriram (マレー民謡)
- 10) A Song of Life (被災地に捧げたSachiyoのオリジナル曲)
- 11) 心の声(Sachiyoオリジナル曲)

アンコール「涙そうそう」

障害のある方によって創設され、従業員のほとんどが障害のある方々で構成されている、仙台市長町の人気レストランにて演奏。定員50名のライブレストランで、51人のお客様が参加し満席。29名の障害のある方を、「とっておきの音楽祭実行委員会」、「仙台市太白区身体障害者福祉協会」、「仙台市視覚障害者福祉協会」を通してご招待、一般客22名を宮城県庁、仙台市、びすたへりの告知協力によって集客。びすたへりの特別ランチ込みのコンサートを楽しんで頂きました。シンガポール特有の多種多様な言語、様々なジャンルの音楽を、時には体を揺らして演奏に聴き入って下さいました。シンガポールという多民族国家から学んだ、「人と人は違ってあたりまえ。どんな形があってもいい。」というメッセージを盛り込んだオリジナル曲を選曲に多く取り入れました。ここでの演奏も、ハイライトはやはり「A Song of Life」。目をつぶって、下を向いて、終始ハンカチで顔を覆って泣いている方もいらっしゃいました。演奏終了後、多くの方々にCDの購入を求められました。異なる人種、老若男女、健常者、障害者、その違いに関係なく、会場が一体となることが出来たコンサートでした。

■ 第三回目公演

尚綱学院中学校・高等学校にて公演

日時:12月12日(月) 15:00 - 16:00



【演奏曲目】

- 1) Lah Lah Lah Singapura (Sachiyoオリジナル曲)
- 2) 花心〜Bengawan Solo (沖縄の「花」を中国語で〜インドネシア民謡)
- 3) Red Sweet Pea (赤いスイートピー を英語詞で)
- 4) Southern Christmas (Sachiyoオリジナル曲)
- 5) Matahari (Sachiyoオリジナル曲)
- 6) 夜来香 (中国伝統曲)
- 7) Suriram (マレー民謡)
- 8) A Song of Life (被災地に捧げたSachiyoのオリジナル曲)
- 9) 心の声(Sachiyoオリジナル曲)

「音楽」と「国際交流」に力を入れている、仙台市内の尚綱学院中学、高校全校生徒及び先生方750名を対象に、学院内にある礼拝堂で演奏。シンガポール政府観光局より、全校生徒分の「シンガポールのパンフレット」もご提供頂いたコンサートでした。人懐っこい子供達が多く、学院内に足を踏み入れると、「Singaporeからようこそ！楽しみにしています！」と、たくさんの生徒達に声を掛けられました。震災により、全校生徒の半数が自宅を半壊以上、14名の生徒の肉親が亡くなり、今も尚、多くの生徒が仮設住宅から通っている学校での演奏でした。「Matahari」や「Suriram」といったリズムのある曲目になると、生徒から自然と手拍子が起こり、礼拝堂全体が活気に満ちあふれました。「A Song of Life」では、嗚咽を漏らして泣いている生徒も居て、心が傷ついている子供達がたくさんいる事を実感するコンサートでした。震災よりの復興のみならず、将来に夢や希望を抱いて欲しいと思い、シンガポールの多種多様性、バイタリティーも紹介し、「国際交流に興味があるのなら、どんどん海外に出て下さい。他の国を知るという事は、自国の良いもの、悪いものが全て見えて来ます。それをしっかりと知って、日本と世界の架け橋となるような仕事に携わって下さい。震災という、とてつもない痛みを経験した皆さんには出来るはずですよ。海外に進出する為に語学力はもちろん、自分のやりたい事をしっかりと見つけること、自分を表現するプレゼンテーション能力を養って下さい。」というメッセージに、たくさんの拍手が沸き起こりました。

【広報活動】



仙台市タウン情報誌「S-style」取材



地元の人気ラジオ番組Date FM「Air Jam Friday」に出演



宮城県庁表敬訪問・経済商工観光部犬飼次長と



Channel News Asia レポート用素材撮影 (近日中放送予定)